

光機能材料研究会
第10回 光触媒研究討論会

近年の光触媒技術と応用の展開に伴い、その基礎研究成果の発表は日本化学会、電気化学会、触媒学会、応用物理学会等多岐にわたって行われていることはご承知の通りです。種々の分野の研究者がそれぞれの経験を基に新たに研究を進展させることはたいへん有意義ではありますが、一方で各分野間での情報伝達が必ずしもスムーズに行われていない感もあります。そこで、本研究討論会では、そうした各分野でご活躍の光触媒研究者の方々に一同に会していただき、研究者のお互いの深い情報交換の場として、光触媒のさらなる研究発展のために開催するものです。

前述のような学会では学生・研究生の発表が中心となる傾向がありますが、本研究討論会では研究室の責任者の方にご発表いただき、研究の全体像・理念が明らかになるようにしたいと考えております。また、討論を重視した運営を図る予定です。

本研究討論会は、公開の場として光機能材料研究会の内外の方に参加を呼びかけます。

- 日時： 2010年7月14日(水) 9:50~17:00 (受付 9:30)
場所： 東京大学先端科学技術研究センター 4号館講堂(2階)
地図： <http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/maps/index.html>
協賛： (財)神奈川科学技術アカデミー
発表： 発表10分、討論10分程度
資料： 要旨集を発行(会報光触媒第32号)
参加費： 会員3,000円、非会員15,000円、学生無料(ただし要旨集3,000円別途)
当日現金でお支払いください(領収書発行)
申込先： 光機能材料研究会
〒153-8904 東京都目黒区駒場4-6-1
東京大学先端科学技術研究センター 橋本研究室内
FAX 03-5452-5084
Web www.light.t.u-tokyo.ac.jp/PFMA
注意事項： 準備の都合上、6月30日までにお申し込みいただくと助かります
(それ以後でも、当日でも受付します)
変更の際はホームページに掲載いたします
省エネ対策中のため、軽装でお越しください
写真撮影、録画等は禁止いたします

参加申込書

参加資格	会員(¥3,000)	非会員(¥15,000)	学生(無料)
社名			
所属			
氏名			
住所	〒		
電話		FAX	
メール			

FAX 03-5452-5084^W

討論会プログラム

- 9:50-10:00 開会挨拶 藤嶋昭
- 10:00-10:20 坂井伸行 (東京大学)
金クラスター担持酸化チタンを用いた光電変換および光触媒反応
- 10:20-10:40 中村龍平 (東京大学)
人工光合成に向けた無機クラスター光触媒の開発
- 10:40-11:00 柴田竜雄 (物質・材料研究機構)
二次元結晶ナノシートを利用した薄膜成長制御
～ガラス基板上における完全c軸配向アナターゼ膜の実現～
- 11:00-11:20 中島章 (東京工業大学)
酸化チタンの光誘起親水性による流動抵抗の低減
- 11:20-11:40 高田剛 (東京大学)
水分解光触媒の開発(仮)
- 12:50-13:10 葉金花 (物質・材料研究機構)
ナノ構造制御による可視光応答型光触媒の高機能化研究
- 13:10-13:30 大谷文章 (北海道大学)
多面体形状アナターゼ酸化チタンメソ粒子光触媒の設計と開発
- 13:30-13:50 横野照尚 (九州工業大学)
水熱合成法と化学エッチング剤による露出結晶面制御した
酸化チタンナノ粒子の合成と反応性
- 13:50-14:10 古南博 (近畿大学)
高感度可視光応答性光触媒材料の開発
- 14:10-14:30 佐山和弘 (産業技術総合研究所)
酸化タングステン光触媒の高性能化とその応用展開(仮)
- 14:30-14:50 阿部竜 (北海道大学)
酸化タングステン光触媒の実用化研究
- 15:10-15:30 入江寛 (山梨大学)
伝導帯制御による酸化チタンの可視光応答化
- 15:30-15:50 宮内雅浩 (産業技術総合研究所)
チタン酸ストロンチウムをベースにした可視光型光触媒
～バンドエンジニアリングと助触媒の担持効果～
- 15:50-16:10 野坂芳雄 (長岡技術科学大学)
金属イオン担持型光触媒とその反応機構(仮)
- 16:10-16:30 橋本和仁 (東京大学)
Cuイオン、Feイオン担持可視光応答型光触媒
- 16:30-16:50 窪田吉信 (横浜市立大学)
フィルター状光触媒の抗菌・抗ウイルス効果について
- 16:50-17:00 閉会挨拶 橋本和仁